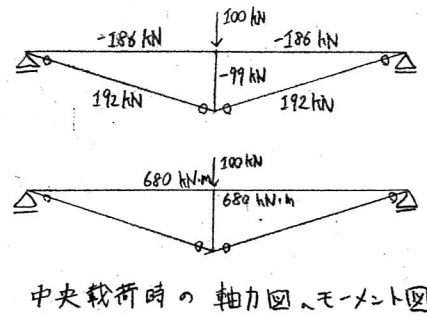
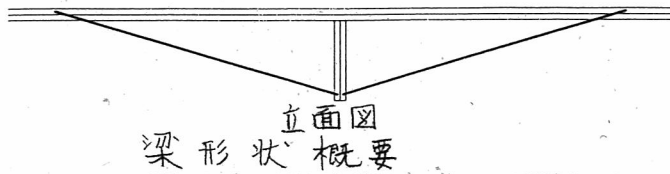
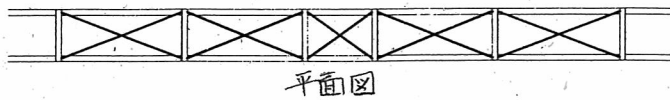


グループ	3
------	---

メンバー	学生証番号*	76100	名前*	田崎 渉
	学生証番号*	76074	名前*	上村 勇人
	学生証番号*	76208	名前*	友澤 裕介
	学生証番号*	76067	名前*	石井 貴子
	学生証番号*		名前*	

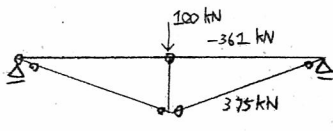
設計コンセプト等*

設計コンセプト： 中央載荷であることも考慮して単純な三角形の張弦梁を作成する。



設計・製作で工夫した点： 初めは引張力を受ける部分をアングルで作ろうとしたが、長穴の位置が合わず、たまたま引張力を受ける部分は全てワイヤーで作ることとした。そのため、梁の立面の斜めの部位の耐力が当初の予定より小さくなると思われるが、梁が軽量化することかできた。

予想される終局状態： 立面で斜めに張られたワイヤーのいずれかが降伏するものと思われる。ワイヤー2本分の強度は10 kN、このときの荷重はおおよそ5 kNとなる(右上図参照)。ただし、上弦材中央の継手部分が降伏した場合、ワイヤーの負担力が大きくなり、荷重が2.7 kN程度でワイヤーが破断すると思われる。(左図参照)



上弦材降伏時

- *印の箇所のみ記入すること
- 各グループごとに、上記必要事項を記入し、コンテスト開始前までに提出すること
- 上記「設計コンセプト等」には、形状概要(図示すること)、設計コンセプト、設計・製作で工夫した点、予想される終局状態(どこがどのように破壊するか)をわかりやすく記述する。なお、スペースが不足した場合は適宜用紙を追加してもよい。
- このエントリーシートは、教官に配布され評価の対象となります。ただし、学生には配布されないため、実験前のプレゼンテーションではこのシートが無くても理解できるように配慮すること。
- 以下には記入しない

	模型重量	模型長さ	最大強度	比強度	施工性	総合評価	備考
結果	15.37	0k	8kg	0.52	A	/100	
順位			3	3			

※重量制限 20kg、長さ制限 3m。(比強度)=(最大強度)÷(模型重量)。

施工性はA~Eの5段階で評価。総合評価は100点満点で評価。

教官サイン